

人間発達科学探究 高校2年生向け サマー・スクール

名古屋大学教育学部では、高校2年生を対象にした3日間の学びの杜「人間発達科学探究講座」（サマー・スクール）を開講します。

この講座は、単に大学の授業を聴講するだけにとどまりません。受講生は少人数（10～15人程度）のクラスに分かれ、大学で実施されている様々な学習活動を体験することができます。

本学部への進学、あるいは広く教育学や心理学の分野へ進むことを考えている皆さん、参加してみませんか？

対 象
募集人員
日 時

高等学校2年生

75名

平成19年

8月6日（月） 10:00～16:00

8月7日（火） 10:00～16:00

8月8日（水） 10:00～16:00

場 所
主 催

名古屋大学教育学部

名古屋大学学びの杜実施委員会

講座

担当教員

第1コース（生涯教育開発コース）	牧野 篤 李 正連ほか
第2コース（学校教育情報コース）	近藤孝弘 石井拓児ほか
第3コース（国際社会文化コース）	西野節男 阿曾沼明裕ほか
第4コース（心理社会行動コース）	吉田俊和ほか
第5コース（発達教育臨床コース）	森田美弥子ほか

履修方法 受講生は5クラスに分かれ、各クラスは第1コースから第5コースまでのすべてのコース（授業）を履修します。
すべての受講生に最終レポートの提出が課せられます。

第1コース 生涯にわたって人が人であるために

みなさんは、「個性」というものをどう考えますか。世界でたった一つの花、個性的であれ、という言葉が社会にあふれ、誰もが個性的でなければならないと焦っているようです。そして、「個性」こそが一番大事で、しかもそれは自分の内面の問題でもあると思いませんか。だから、個性的でない自分は、だめな人間だと思ってしまう。

でも、自分の「個性」はこれだ、といえる人はどれくらいいるのでしょうか。実は、個性的であれという社会的な風潮にせかされていることからわかるように、その「個性」とは、社会的に求められたもの、作られたものです。私たちは、「自分」という存在そのものが、社会的に作られたものとして、その存在を生きているという一面があります。単に、自分の内面をしてみるだけでは自分はわかりません。

自分が周囲の人やより広い社会的な様々な関係の中で、どのように作られているのか。このコースでは、私たちの存在から社会を見て、その社会から自分をとらえることで、人が人であることの意味を考えます。



第2コース 社会のなかに、わたしを見つける

人間は社会的な生きものです。人間は、周囲の人々と協力して自然的環境や社会的環境をよりよいものに変えようと努力してきました。そこに人間らしさがあるのです。私たちは、教育を通じてこの人間らしさを獲得し、社会の主人公として生きる力を身につけていきます。

だからこそ＜学校＞は、集団的・組織的に営まれてひとつの＜社会＞をつくっています。こうしてみると、学校について考えることは、実は社会について考えることに他ならないと言って良いでしょう。

学校とは何か、人間が学ぶとは、成長するとはどういうことか。これらについて考えることは、学校のなかで＜わたし＞がどのように形成されるのかを考え、社会のなかに＜わたし＞を見つけだしていく作業でもあるのです。

わたしたちの学校は、社会のなかで＜わたし＞が生きていくことを、どのくらい助けてくれているのでしょうか？ 社会の中で生きるというのは一体どういうことなのでしょう？ 学校と社会について、そして＜わたし＞について、一緒に真面目に考えてみましょう。

第3コース 異文化との出会いと自己発見のドラマ

現代社会は、国際化とグローバル化が加速的に進展していく社会です。環境問題を考えることで、私たちは、思ったより地球が小さく、リミットがあり、環境破壊によって次世代の人たちに負の遺産を継がせてはならないことに気がつきました。経済のグローバル化を分析してみると、私たちの豊かさも隣人たちの貧しさの犠牲の上に成り立っていることがわかってきます。

このコースでは、先ず異文化との出会いと異文化の人々との語り合いを体験してもらい、どのようにコミュニケーションをはかり、どのように互いに理解しあえるかを考えます。次に、そのような体験を通して、自文化を再発見し、自己を見つめ直すきっかけと自己を表現することの重要性について考えます。そしてこのような作業を通じて、真の相互理解とは何か、人間とは何かについて、よりよい理解を得ることをめざします。

第4コース 人間の心と行動を解き明かす

このコースでは、「人の行動を科学する」というテーマのもとに、心理学が人間の行動をどのように解き明かそうとしているかについて説明します。例えば、日常場面で起きた行動について、人はその原因をどのように理由づけようとし、どこに責任を求めようとするかの行動法則について考えます。

さらに、パーソナリティ(性格)とは、心理学では、どのように考えられ、測定されているのか、なぜ血液型で人の性格を分類しようとするのは間違いなのかについて説明します。

最後に、簡単な心理学実験に参加してもらい、科学的な心理学の研究方法を体験していただきます。



第5コース 人間関係を学ぶ／人間関係から学ぶ － 高校生のための臨床心理学入門－

あなたは、自分との関係、他人との関係がうまくいっていますか？人との関係がうまくいかない時、私たちは誰でも気分が落ち込み、悩んでしまいます。そして同時に、そんな悩んでいる自分を支えて助けてくれるのも、人の存在です。人間関係というのは、悩みやストレスの種にもなるし、問題解決や成長発達のための力にもなるのです。臨床心理学では、人間関係に起因する不適応の問題を考え、人間関係によって援助する技法について研究しています。

あなたは、自分の人づきあいの癖を知っていますか？このコースでは、臨床心理学で用いられている技法を応用して、自己理解・他者理解の手助けになるような体験学習を行います。それを通して、臨床心理学の基礎にふれてもらうことを目標とします。



人間発達科学探究講座実施方法

学びの杜「人間発達科学探究講座」(サマー・スクール)は、名古屋大学教育学部の教員から構成された学びの杜実施委員会が主催します。講座の企画・立案・準備などは、実施委員会の教員が行います。講座の実施は、教員、ならびに教員の監督の下に大学院生が行います。



✳ 参加申し込みについて

1. 参加希望者は、別紙の参加申込書（コピー可）に記入してください。
2. 在籍する高等学校ごとに、参加申込書を取りまとめて、申し込んでください（個人からの応募は受け付けません）。
3. 同じ学校からの希望は、10名以内とします。
4. 平成19年7月12日（木）（必着）までに、郵便で下記までお送りください。
5. 参加希望者数が多い場合、抽選によって参加者を決定します。
6. 参加の可否については、7月19日までに、各高等学校へ送付します。

✳ 申し込み先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学教育学部学びの杜実施委員会

✳ 問い合わせ先 FAX 052-789-2616（松下研究室）
Email n47132a@cc.nagoya-u.ac.jp

（お問い合わせは、郵便、FAX、Emailでお願いいたします。
電話でのお問い合わせは受け付けません）

平成19年度 名古屋大学教育学部 高校生のためのサマー・スクール 参加申込書

 **学校名**
ふりがな

 **氏名**

 **希望動機・サマー・スクールに期待すること**